



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アーレスティ

コード番号 5852 URL <http://www.ahresty.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 新

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 古屋 茂

TEL 03-5332-6001

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	47,577	△3.2	△421	—	△470	—	△547	—
23年3月期第2四半期	49,146	51.9	2,304	—	2,159	—	1,755	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △1,532百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 317百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△25.39	—
23年3月期第2四半期	81.49	81.22

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第2四半期	96,828		32,837		33.8	
23年3月期	93,799		34,407		36.6	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 32,769百万円 23年3月期 34,326百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成23年11月9日)公表の「剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、現時点では、期末配当予想額は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,700	6.7	1,450	△61.5	1,300	△63.5	900	△39.2	41.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 阿雷斯提精密模具(広州)有限公司、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	21,778,220 株	23年3月期	21,778,220 株
24年3月期2Q	213,715 株	23年3月期	238,709 株
24年3月期2Q	21,552,049 株	23年3月期2Q	21,539,919 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、サプライチェーンの立て直しや各種政策効果などを背景に景気は持ち直しつつあります。ただし、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、海外景気の下振れリスクや為替レートの変動等による景気悪化懸念があります。

海外においては、米国では極めて弱い景気回復になっており、景気の下振れリスクがあります。中国及びインドでは内需を中心に拡大傾向が続くと見込まれます。

このような環境の中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高47,577百万円（前年同四半期比3.2%減）、営業損失421百万円（前年同四半期は営業利益2,304百万円）、経常損失470百万円（前年同四半期は経常利益2,159百万円）、四半期純損失547百万円（前年同四半期は四半期純利益1,755百万円）と減収減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ダイカスト事業 日本

国内では、主要販売先である自動車業界において、東日本大震災の影響により大幅に自動車生産が減少しました。その後、生産体制の早期回復及び生産の挽回に努めたものの、需要及び生産が減少しました。当社においても、それらの影響を受けて受注が減少したことにより、売上高は30,090百万円（前年同四半期比10.3%減）となりました。収益面においては、受注の減少による影響等により、セグメント利益は299百万円（前年同四半期比73.8%減）となりました。

② ダイカスト事業 北米

北米では、東日本大震災の影響で主要顧客からの受注が減少したものの、上期後半には受注増加傾向となったことにより、売上高は8,419百万円（前年同四半期比8.5%増）となりました。収益面においては、米国での受注減少による影響に加え、メキシコでの受注増への対応の遅れを挽回するための費用が発生したこと等により、セグメント損失は425百万円（前年同四半期はセグメント利益740百万円）となりました。

③ ダイカスト事業 アジア

中国では、引き続き旺盛な自動車販売状況の下、当社においても新規製品の供給が始まった事もあり、受注は高水準で推移しました。インドでは、ガソリン高による自動車販売低迷や東日本大震災等による減産の影響があったものの、新規製品の立ち上がりにより受注が拡大し、アジアでの売上高は6,325百万円（前年同四半期比22.9%増）となりました。収益面においては、中国での労務費等の原価高の影響、育成過程にあるインドの影響等により、セグメント損失は312百万円（前年同四半期はセグメント利益477百万円）となりました。

④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、二次合金地金の出荷量が前年同四半期比で3.9%減となったことにより、売上高は1,758百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。収益面においては、原価低減活動を図ったものの、原材料価格の上昇により、セグメント損失は23百万円（前年同四半期はセグメント利益8百万円）となりました。

⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のリニューアル物件の受注や通信会社のデータセンター向け物件等の受注により、売上高は983百万円（前年同四半期比10.4%増）となりました。収益面においては、価格競争の激化により、セグメント利益は19百万円（前年同四半期比29.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ3,028百万円増加して96,828百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少3,461百万円、受取手形及び売掛金の増加2,236百万円、有形固定資産の増加4,599百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ4,599百万円増加して63,990百万円となりました。主な要因は、借入金の増加4,118百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,570百万円減少して32,837百万円となりました。主な要因は、四半期純損失547百万円、その他有価証券評価差額金の減少566百万円、為替換算調整勘定の減少435百万円であります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末36.6%から33.8%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、国内売上高はほぼ当初予想通りに推移すると見込まれるものの、海外売上高は前回予想を下回ることが見込まれることから、連結売上高は前回予想を下回ると予想されます。収益面においては、海外売上高が前回予想を下回ることに加え、海外における事業拡大に伴う先行投資、一部地域の収益改善の遅れ等の影響により、営業利益、経常利益及び当期純利益は前回予想を下回ると見込まれます。

なお、平成23年10月に発生したタイの洪水被害による業績への影響は、現時点では合理的な算定が困難であることから、今回修正予想には含んでおりません。

また、連結業績見通しにおいては、下期為替レートとして78.0円/米ドル、12.1円/元を前提としております。平成23年7月20日に発表しました通期連結業績予想との差異は、以下のとおりです。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	107,500	2,300	2,200	1,800	83.49
今回修正予想 (B)	105,700	1,450	1,300	900	41.75
増減額 (B-A)	△1,800	△850	△900	△900	—
増減率 (%)	△1.7	△37.0	△40.9	△50.0	—
前期実績	99,022	3,765	3,557	1,481	68.80

参考（今回修正予想）

		売上高	営業利益
		百万円	百万円
ダイカスト	日本	67,000	1,850
	北米	18,100	50
	アジア	14,100	△550
アルミニウム		3,800	0
完成品		2,700	100

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、阿雷斯提精密模具（広州）有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,179	5,718
受取手形及び売掛金	20,254	22,491
商品及び製品	2,717	3,023
仕掛品	3,542	3,763
原材料及び貯蔵品	2,903	2,894
その他	1,933	2,619
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	40,530	40,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,486	9,741
機械装置及び運搬具（純額）	21,318	22,863
土地	5,746	5,715
建設仮勘定	6,333	8,845
その他（純額）	3,399	3,717
有形固定資産合計	46,284	50,884
無形固定資産		
投資その他の資産	543	756
投資有価証券	6,052	4,175
その他	388	504
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	6,440	4,679
固定資産合計	53,268	56,319
資産合計	93,799	96,828
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,571	17,219
短期借入金	3,910	5,147
1年内返済予定の長期借入金	6,990	8,146
未払法人税等	364	295
賞与引当金	1,225	1,232
その他	4,713	7,111
流動負債合計	35,775	39,152
固定負債		
長期借入金	14,950	16,675
退職給付引当金	3,587	3,722
事業構造改善引当金	1,220	1,120
負ののれん	54	—
その他	3,803	3,318
固定負債合計	23,616	24,838
負債合計	59,391	63,990

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,117	5,117
資本剰余金	8,363	8,359
利益剰余金	24,943	24,338
自己株式	△358	△320
株主資本合計	38,066	37,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,680	1,114
繰延ヘッジ損益	△16	—
為替換算調整勘定	△5,404	△5,839
その他の包括利益累計額合計	△3,740	△4,725
新株予約権	81	67
純資産合計	34,407	32,837
負債純資産合計	93,799	96,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	49,146	47,577
売上原価	42,324	43,105
売上総利益	6,821	4,471
販売費及び一般管理費	4,517	4,892
営業利益又は営業損失(△)	2,304	△421
営業外収益		
受取利息	5	21
受取配当金	45	53
負ののれん償却額	55	54
為替差益	—	82
その他	145	98
営業外収益合計	251	311
営業外費用		
支払利息	251	312
為替差損	112	—
その他	32	47
営業外費用合計	395	360
経常利益又は経常損失(△)	2,159	△470
特別利益		
固定資産売却益	2	2
退職給付制度改定益	141	—
特別利益合計	143	2
特別損失		
固定資産除売却損	51	57
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	48	—
退職給付制度改定損	—	22
その他	—	10
特別損失合計	100	89
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,202	△558
法人税、住民税及び事業税	420	451
法人税等調整額	26	△462
法人税等合計	446	△10
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,755	△547
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,755	△547

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,755	△547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△343	△566
繰延ヘッジ損益	—	16
為替換算調整勘定	△1,093	△435
その他の包括利益合計	△1,437	△984
四半期包括利益	317	△1,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317	△1,532
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,202	△558
減価償却費	4,505	4,588
負ののれん償却額	△55	△54
賞与引当金の増減額(△は減少)	163	6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△0	135
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	—	△99
受取利息及び受取配当金	△50	△75
支払利息	251	312
有形固定資産除売却損益(△は益)	49	54
退職給付制度改定益	△141	—
退職給付制度改定損	—	22
売上債権の増減額(△は増加)	△2,408	△2,266
たな卸資産の増減額(△は増加)	△878	△377
仕入債務の増減額(△は減少)	3,056	△1,374
未払金の増減額(△は減少)	△67	△171
未払消費税等の増減額(△は減少)	△32	△693
その他	1,109	705
小計	7,703	156
利息及び配当金の受取額	50	75
利息の支払額	△252	△313
法人税等の支払額	△209	△667
法人税等の還付額	85	280
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,377	△468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△484
定期預金の払戻による収入	—	87
関係会社株式の取得による支出	△160	—
関係会社の清算による収入	425	—
有形固定資産の取得による支出	△4,357	△7,049
有形固定資産の売却による収入	9	111
その他	△32	△175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,115	△7,509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	12,253	10,820
短期借入金の返済による支出	△11,756	△9,574
長期借入れによる収入	1,482	6,670
長期借入金の返済による支出	△3,329	△3,662
配当金の支払額	△107	△129
その他	△14	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,472	4,110
現金及び現金同等物に係る換算差額	△174	△189
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,615	△4,057
現金及び現金同等物の期首残高	5,267	9,179
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	153
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,882	5,275

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	33,556	7,760	5,146	1,792	891	49,146
セグメント間の内部売上高 又は振替高	965	8	156	1,283	—	2,415
計	34,521	7,769	5,303	3,075	891	51,561
セグメント利益	1,146	740	477	8	27	2,400

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,400
セグメント間取引消去	△95
四半期連結損益計算書の営業利益	2,304

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	30,090	8,419	6,325	1,758	983	47,577
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,080	9	251	987	1	3,331
計	32,170	8,429	6,577	2,745	985	50,908
セグメント利益又は損失(△)	299	△425	△312	△23	19	△442

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△442
セグメント間取引消去	20
四半期連結損益計算書の営業損失	△421

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。